



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社アプリックス
代表者名 代表取締役社長 倉林 聡子
(コード：3727、東証グロース)
問合せ先 経営管理部 担当部長 岩井 俊輔
(TEL. 050-3786-1715)

上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2024年12月31日（以下「基準日」）時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準を充たしていないため、下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっており、時価総額については基準を充たしていない状況です。当社は、時価総額に関して2025年12月期末までに上場維持基準への適合に向けた取組を進めてまいります。

	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況（基準日時点）	199,202 単位	3,049 百万円	91.01%	3,351 百万円
上場維持基準	1,000 単位	500 百万円	25%	4,000 百万円
計画書に記載の項目				○

※ 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所に提出している株券等の分布状況表（2024年12月末時点）に基づいて記載しております。

2. 当社の上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

（1）基本方針

当社では上場維持基準への適合に向けて、時価総額の向上を目的として引き続き業績の向上及び安定化に取り組むとともに、IR活動の強化や継続的な株主還元策の実施等による投資魅力の向上を図ることで、上場維持基準の適合を目指してまいります。

（2）課題及び取組内容

当社では過去長きに渡り赤字が継続する等業績の不振が続いておりましたが、2022年12月期以来安定的に黒字を計上しております。しかしながら、株価については低迷した状態が続いており、この理由としては当社の知名度が証券市場に十分に浸透していないこと、また投資家から見て投資魅力が十分ではないと考えられていること、これらを要因として上場維持基準における時価総額基準の不適合という結果に至ったものと認識しております。

このような状況を解消するため、当社では「知名度の浸透」と「投資魅力の向上」を目的として下記に記載した施策に取り組んでまいります。

「知名度の浸透」については、積極的な発信にこれまで以上に取り組んでまいります。すでに決算説明会や投資家向けセミナーを継続的に開催するとともに、これらの内容をホームページに都度掲載し投資家に向

けて発信しているほか、適時開示やプレスリリースの配信サイトを通じた発信の強化、また投資家向け媒体への掲載等に取り組んでおりますが、引き続きこれらの取り組みを強化していく予定です。

また「投資魅力の向上」については、自己株式の取得や剰余金の配当等の株主還元策を継続的に実施することで実現してまいりたいと考えております。前期中において当社では初となる自己株式の取得を実施したほか、剰余金の配当についても本年3月に開催予定の定時株主総会後にこちらも当社では初となる実施を予定しておりますが、これら株主還元策についても継続的に実施してまいります。また、中長期的な事業成長の方向性を明確にするため、2024年8月に事業ビジョン及び事業ロードマップを策定いたしました。現在、このロードマップに基づき、既存ビジネスのリブランディングや新規ビジネスの創出に取り組んでおりますが、今後もこの新事業ビジョンに基づき様々な施策を推進してまいります。併せて企業価値向上に資するM&Aの実施にも取り組んでまいります。

上記に記載した施策を着実に実行することで、2025年12月期末までに上場維持基準への適合を目指してまいります。

以上